

2025
vol.
10

magazine

発行・編集
橋南まちづくり委員会
橋南公民館報委員会
印刷
株式会社 秀文社

橋南



6年ぶりに夕方開催された夏まつりは
夕涼みの中、各ブースには行列ができ大盛況のうちに幕を閉じました。
来年もまた来たいという声が多く聞かれました。



7/19★夜

橋南

夏まつり



防災への取り組み



6/1 土砂災害全国統一防災訓練

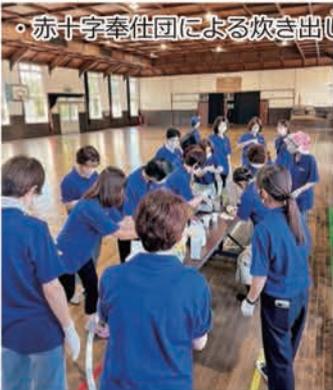
8/31 地震総合防災訓練



- ・橋南地区拠点本部設営
- ・小学校講堂での避難所設営訓練



- ・小学校校庭にある防災倉庫資機材の確認



- ・赤十字奉仕団による炊き出し訓練



ハイゼックス包装食



- ・ポータブルトイレの設置訓練 (プール跡地)

ありがとう
赤い羽根募金



赤い羽根共同募金から助成を受け、「ポータブル電源」とソーラーパネルを購入しました。緊急時の電源確保に活用できます。

橋南地区では初めて「ハイゼックス（高密度ポリエチレン製の災害救護用炊飯袋）」に無洗米と水を入れ、沸騰した湯で炊飯を行った

6/8 飯田市消防技術大会

〈ポンプ部門〉



- 石原元一(団長)
- 佐藤麻友里(指揮者)
- 早川大地(1番員)
- 木下智(2番員)
- 木下由美子(3番員)
- 今牧拓哉(4番員)
- 中島勇輝(補助員)
- 熊谷一成(補助員)

〈救急部門〉

- 篠田典秀(指揮者)
- 森本紘司(1番員)

第1分団のみなさん
いつも
ありがとう!



6/7 交通少年団入団式

今年は多くの児童のみなさんが
入団してくれました



- わたしたち交通少年団はみんなに交通安全をよびかけます
- わたしたち交通少年団は、すすんで交通ルールを守り、みんなの員本になります
- 橋南地区役員
 - 田中 康之(副団長)
 - 土屋 澄枝 (分団副指導部長)
 - 団員
 - 小倉 詩月(6年)
 - 瀧澤 蓮音(6年)
 - 森本菜々子(6年)
 - 榎 碧琉(5年)
 - 大石萌奈未(5年)
 - 雄谷 芽生(5年)
 - 西川 琉希(5年)
 - 吉野 泰平(5年)
 - 田中 吉誠(4年)
 - 松村 穂風(4年)
 - 前澤 美月(4年)
 - 松島 志翔(4年)
 - 菊地 マイ(4年)

7/9 市長と語るまちづくり懇談会

「信州飯田の中心市街地「橋南」～橋南地区将来構想の実現へ～」をテーマに意見交換

○佐藤市長から

「令和7年度『20地区田舎へ還ろう戦略』の取り組み～飯田市と橋南地区の人口診断の結果から～」
橋南地区は、毎年20代前半の男女、30代子連れ家族、60代定年を迎えて帰郷する夫婦をそれぞれ2組ずつを毎年迎えると人口が維持できるとのこと。

○橋南地区まちづくり委員会からの質問



外松副会長

新飯田文化会館を中心市街地へ

昨年度のまちづくり懇談会でも質問したが、その後の進捗状況は？



追手町小学校
篠田PTA会長

飯田学園構想と今後のあり方について

地域と学校の掛け合わせは素晴らしいし、これからも必要と思う。保護者が目にしたくなるような効果的な広報を。地域の考え方も変わってきている。面と向かって議論する場が必要では？



木下副会長

りんご並木を活用したまちなかの回遊性向上へ

昨年度実施したりんご並木社会実験の報告、旧中央公民館、旧プール跡地の閉鎖後の活用方法と、日常的に人々が集う場の必要性について

○市からの回答

建物については一体型、分散型とするか、建設場所はどこにするかなど様々な可能性を捨てずに検討中。年度内を目途に、方向性を出していきたい。

飯田東学園の運営協議会を発足し、コーディネーターを任命した。そこで話し合いをし、色々な機会を通して市民の皆さんに説明していく。

まちなかの回遊性の大切さは認識している。一つの提案として参考にし、地域の皆さんと一緒に検討していきたい。



映画鑑賞「こんにちは、母さん」

健康福祉委員長 宮下千文



健康福祉委員会では7月末に「こんにちは、母さん」の映画鑑賞会を行いました。この映画は山田洋次監督、吉永小百合、大泉洋が演じる親子の物語です。登場人物それぞれに抱える現代の社会的事情に「わかる、わかる」と共感し、山田監督の面白おかしい演出に皆で笑い合い楽しい時間を過ごせました。今年は日曜に企画し50名参加で大盛況。来年も心の栄養になる映画を是非見たいと思っています。大勢の皆さまご参加ありがとうございました。

組成調査を実施して

環境副委員長 萩元俊介



6月23日、今年度の組成調査が行われました。組成調査とは、グリーンバレー千代に集められた家庭ごみから任意でいくつかを取り出し、正しく分別できているかを確認し分別しなおすというものです。中にはペットボトルが燃やすごみの袋に入っていたり、外せばプラ資源として捨てられるものがあつたりと、まだまだ「リサイクル」への意識が薄い方もあるようです。こういったものが「ごみ」ではなく「資源」になることを、今後も広めていきたいと思っています。

地域コーディネーター就任について

篠田典秀



学園構想とはその名の通り、小中学校に地域も含めて、1つの教育共同体としてより充実した学びの場を目指していこうというものです。私自身どう舵を切れば良いのか模索中の不安の船出です。しかし、皆さんのお知恵をお借りすればかつてない教育の姿がそこにはあると希望に満ちております。橋南には素晴らしい方々と地域資源が豊富だからです。追手町小の校歌にある大海原。子ども達の航海の羅針盤たる学園になるよう、ご協力の程お願い致します。

人権擁護委員就任にあたって

清水真



令和7年7月1日付で人権擁護委員として委嘱されました。人権擁護委員の活動については初めてなので、これから勉強していかなくてはいけないと思っています。人権についての自分なりのイメージですが、少数の不幸や苦労の上に自分たちの幸福や楽を築いてはいけない、と思います。偏見・差別が公の場で発信されていることに不安を感じながら、自分ができる人権擁護を少しずつ行っていきたいと思っています。

人形劇フェスタ

8/7 (THU) 中央保育園公演



8/9 (SAT) 追手町小学校公演
「追手町劇団 おひさま」
3年生



みんなしっかり声が出ていてとても良かったです。歌も素敵でした。
(観劇者アンケートより)

8/10 (SUN) 仏教保育園公演



8/21 (THU) こども縁日



7/24 (THU) 中高生が勉強を
教えてくれたよ



環境について
学ぼう!

8/4 (MON) セタ飾りづくり

8/19 (TUE) プラネタリウム



7/2 (WED) 科学実験教室

「3・2・1、発射」「わぁ、私もやりたい」
今年も小学校で科学実験教室を行いました。6年生は教室でロケットの制作、当日は雨の心配もありましたが城下グランドへ移動しての打ち上げ、発射の際には各々これからの目標を大きな声で発表し、高くロケットは上がりました。また、4、5年生は講堂で液体窒素を使った色々な実験を行いました。ダリアの花が瞬時に凍り手で壊れたり、何十個の風船を液体窒素に詰め込んだり、今回は全員が1つの実験に携わってくれました。当日はおもしろ科学工房や多くのスタッフも参加して児童を手伝ったり、実験に参加したりして一緒に楽しみました。保護者の方々にも見学いただき、これをきっかけに科学に関心を持ってくれることを希望します。
育成委員長 加藤和廣

夏休みこども教室

7/29 (TUE) いもほり



6/18 (WED)

パドミントン



7/16 (WED) ドッチビー



7/2 (WED) ドッジボール



放課後こども教室

りんごっこ 食堂

8/4 (MON) 冷やしうどん
おにぎり



7/24 (THU)

豚丼・サラダ



6年生 モデルロケット



液体窒素



4・5年生 超電導
リニア

6/22

モルック体験&交流会



公民館事業として初めての「モルック体験&ミニ大会」を行いました。想定より多くの子供から大人までご参加頂き誠にありがとうございます。多くの皆様から楽しかったとお言葉を頂きました。モルックはフィンランド発祥の木製のゲームです。ルールは簡単で年齢や性別を問わず誰でも気軽に楽しめるのが大きな魅力です。運動神経に自信が無くても戦略と運で勝つことができます。近年YouTubeをきっかけに競技人口が急増しています。またモルック大会を開催致しますので是非ご参加ください。

体育委員長 田中秀樹



モルック大会優勝

4年生 河合飛成 (箕瀬3)

ぼくはモルック大会に出てゆうしょうしました。モルック大会に出場して知れた事は、1つあります。1つ目は「モルックをやっている人の気持ち」をたいけんできたことです。ふだん僕は児童クラブで遊び感覚でやっています。ですが大会となることで集中力がましてハラハラするような対戦が続いていってモルックをやっている人は、相手の点数から考えてぼうがいしたりなどいろんな必勝法を考えていることがわかって、次モルックをやるときから活かしていきたいと思いました。



河合ファミリー

モルックの遊び方

- 1 準備**
木の棒(モルック)を投げて遊びます。ピンは12本を三角形に並べます。(1のワシンのように並べます)
- 2 順番に投げる**
投げる場所はピンから3~4mくらい離れたところ。1人ずつモルックを投げてピンを倒します。
- 3 得点の数え方**
倒れたピンが1本だけ → 倒れたピンの数字が得点
倒れたピンが2本以上 → 倒れた本数が得点
- 4 勝ち条件**
先にちょうど50点にした人が勝ち！
50点を超えたと25点に戻ってしまうので注意。





飯田市名誉市民第1号 日夏耿之介



詩人・英文学者日夏耿之介（本名樋口國登）は、1890年（明治23年）

知久町三丁目の樋口藤治郎、以志（樋口龍峽の姉）の長男として生まれる。広範な学識と多岐にわたる文学活動で「学匠詩人」と称される。樋口家は清和源氏につながる家系で、数百年前に木曾から移った。木曾義仲の盟友樋口兼光も一門。

祖父興平は上郷北原家からの養子、郊戸神社、愛宕神社の宮司を務めた。父は伊賀良伊藤家から養子に入り、信濃商業銀行、百十七銀行の支店長を務めた。母方の親戚に勤王家松尾多勢子がいる。

飯田尋常高等小学校（現追手町小学校）を卒業後、長野県立飯田中学入学。1904年に父が経営する銀行が破綻し、上京して母方の叔父の樋口龍峽（秀雄、当時早稲田大学教授）

に身を寄せ、旧制京北中学校2年に転入。

1908年に早稲田大学高等予科に入学。当時の早稲田大学には、同郷の同年生に河竹黙阿弥の姉家に養子となった河竹繁俊（旧姓市村）、2学年下に後に野球部の監督となった市岡忠男（のちに東京巨人軍の創立者で総監督）がいた。在学中の1912年から西條八十、森口多里、堀口大學、石井栢亭、画人の長谷川潔、永瀬義郎らと同人誌「聖杯」を創刊し、戯曲「美の通路」や和歌の連作、詩や随想などを発表、ペンネームの日夏耿之介、号の夏黄眼、雛津之介を用い始める。

1917年に第一詩集『轉身の頌』を家蔵版として刊行、以後『黒衣聖母』『黄眼帖』『咒文』を出版。1922年から『中央公論』で明治、大正の詩史について掲載を始める。1920年に天佑社『ワイルド全集』第4巻として「ワイルド詩集」を翻訳。また「朝日新聞」に寄稿を始める。1924年、再従妹の中島添子と結婚。1931年早稲田大学文学部教授に就任。1945年、郷里の飯田市の疎開し、早稲田大学教授を辞任、翌1946年帰京。1952年から青山学院大学で文学論、比較文学論を講じる。1953年に飯田市名誉市民第1号に選定。

1956年に岸田国土命日の法要

に出かける際に脳溢血の発作で倒れ、右半身不随となって再び飯田市内に帰郷し、愛宕神社境内に居を構える。1959年に飯田市内にて古希祝賀会、記念講演会が催され、また同市風越山頂に句碑建立され、「秋風や狗寶の山に骨を埋む」の句が刻まれた。1981年、青山学院大学教授を退任。1982年に飯田市内りんご並木に、谷口吉郎設計、齋藤磯雄撰による詩碑建立、「咒文の周圍」最終聯が刻まれた。1971年に飯田市内大久保の愛宕稲荷神社境内内の自宅にて81歳で没す。菩提寺は箕瀬の柏心寺。

現在まで続く追手町小学校の文集「ぐひん」の題字や西玄関わきの「仲よく」の石碑は日夏耿之介の揮毫によるもの。また祖父が宮司であった愛宕稲荷神社には樋口家に纏わる多くの石碑がある。生家のあった知久町には、樋口家が祀っていた稲荷様が現在も他家の手で大切に祀られている。



飯田市社会教育委員
飯田市美術博物館評議員

今村光利（箕瀬3）



柏心寺に眠る



8/9 りんごん

今年も多くの皆さんに参加いただきました！

橋南 りんごん
ほいおいな〜♪



「色付け！友情の青りんご
追手町小学校6年生」連

りんごん大賞 おめでとう！

7/27 中高生
お弁当講座

メニュー

- ・豚肉しくれ煮
- ・ハムエッグ
- ・味つけ
グロッコリー
- ・魚の照り焼き

夏のお弁当は
冷ましてから
詰めましょう！

田中秀樹さん(松尾町
2)を講師に夏のお弁当
作りのコツと気を付けた
いポイントを学びました。



7/13 史跡巡り
久能山東照宮の旅

今回は、22名と多くの方々に参加していただき、久能山東照宮から駿府城方面を廻る旅をいたしました。今年が戦後80年ですが、江戸時代は260年間と長きにわたり天下泰平な時代が続きました。今旅は、その国造りに生涯をかけた徳川家康公の軌跡を探訪しました。その中に「人の一生は重荷を負て遠き道を行くが如し、いそぐべからず不自由を常とおもえは不足なし」とあります。今も世界の何処かで戦いが行われています。日々が穏やかで平凡に過ごせることがどれだけ貴重な事なのか、少しながら徳川家康公の生涯を訪ねる事から感慨が深まる旅でした。

次回は、11月頃に阿智～昼神・園原方面を予定しています。また、多くの方の御参加をお待ちしています。

文化委員長 吉澤充志



橋南 2025/9 広報 第83号 館報 第38号 (通算241号)

人口：男1,086名 女1,288名 計2,374名
世帯数 1,160世帯 (令和7年8月末現在)

並木サポーターへのご参加・ご協力を！

まちづくり委員会 緑化部長 外松 秀 康

昨年の秋より始まった東中の並木作業に協力する並木サポーターの募集が、本年度は年間を通じて行われています。これまで、5月に摘果、7月にマリーゴールドの定植作業、9月の除草作業を中学生と一緒に行いました。参加いただいた個人、企業の皆様に御礼申し上げます。

今後は10月7日の収穫作業から1月の剪定まで、4回の作業が予定されております。平日の作業になりますが、是非ご参加をお願いします。

詳細については、まちづくり委員会または飯田東中学校にお問い合わせ下さい。

🍎 今後のりんご並木作業日程 🍎

- 10月7日(火) 14:40 収穫作業①
- 11月17日(月) 14:35 収穫作業②
- 11月27日(木) 14:45 施肥作業
- 1月27日(火) 14:35 剪定作業

事前申し込みは不要！ぜひ参加してね！

鎌倉の円覚寺は、元寇の後、『怨親平等』の思想から、日本人はもとより、元の兵士や戦乱の犠牲者全ての弔いと救済の為に、時の権力者、北条氏が建てたお寺だそうです。

毎年夏の催し世界の情勢を見て、橋南の将来を考へるとき、「信自愛他」と『怨親平等』は、重要だと思っています。(樋口)

編集後記

追手町小の目標は、「信自愛他」です。自分を信じ他人を愛することです。仏教(禅)では、「不生の仏心」人はだれも己に、仏さまの慈悲の心を持ち、また「一切衆生誓願度」、生きとし生けるもの全てを救う考えもあります。

KYONAN イベント

- 10月7日(火) 議会報告会
- 10月12日(日) 第28回橋南連台大運動会
- 11月8日(土)・9日(日) 第30回橋南文化祭